【シラバスⅡ】令和８年度　評価規準

教科名　国語		科目名　現代の国語		
時期・単元	内容のまとまり	知識・技能	思考・判断・表現等	主体的に学習に取り組む態度
前期	話すこと・聞くこと	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。（（１）ア）	・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。（ウ）	・言葉を効果的に用いることで自分の考えを的確に相手に伝えようとしている。
	書くこと	・推論の仕方を理解し使っている。（（２）ウ）	・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。（イ）	・書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、論理の展開や文章の構成を工夫して相手に伝えようとしている。
	読むこと	・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。（（２）ア）	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。（ア）	・様々な種類の文章の読解を通して、他者の考えを読みとり自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。
後期	話すこと・聞くこと	・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。（（１）オ）	・論点を共有し、考えを広めたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。（オ）	・相手の意見をよく聞き理解したうえで自分の考えを持ち、言葉を効果的に用いることで自分の考えを相手に伝え、考えを広めたり深めたりしようとしている。
	書くこと	・推論の仕方を理解し効果的に使っている。（（２）ウ）	・目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特徴や課題を捉え直したりしている。（エ）	・自分の文章の特徴や役割、表現の特色を踏まえ推敲し、論理の展開や文章の構成を工夫して効果的に相手に伝えようとしている。
	読むこと	・個別の情報と一般化された情報や、主張と論拠など、情報と情報との関係について理解している。（（２）ア、イ）	・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。（イ）	・情報と情報との関係について理解し、様々な種類の文章を読解することで、他者の考えを読みとり自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。
主な評価方法		定期考査	定期考査	授業態度 提出物 定期考査

その他